

いぶき 若い息吹

第39号

令和7年3月発行

東近江市青少年育成市民会議
五個荘支部

〒529-1422

滋賀県東近江市五個荘小幡町318番地
五個荘コミュニティセンター内

「青少年健全育成宣言のまち」

青少年広場



五個荘中学校吹奏楽

活動支援

五個荘小学校運営協議会
五個荘中学校運営協議会

大人と子どもの 交流事業



山本子ども会 神輿巡行

花いっぱい運動



あじさい幼児園

あいさつ運動



五個荘中学校

早寝早起き朝ごはん



川並町子ども会 ラジオ体操

地域の子どもは地域で守り育てる!!

～地域のつながり・地域の力～

地域で守り育てる活動を

支部長 川島 幸夫

平素は、青少年育成市民会議五個荘支部の活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

皆様から地域の子どもたちに温かい見守りをいただき、さらに毎年賛助会員としてご支援頂いております事に厚くお礼申し上げます。

さて、コロナ禍より青少年を取り巻く環境は、インターネット等によるいじめやスマホ依存症など依然として厳しい状態が続いています。

このような状況の中で五個荘地区において、2024年12月に「子ども円卓会議」～地域のみんなで子どもの未来を考える

パートⅢが開催されて、参加させていただきました。活発な意見がだされて

- ・小学生、中学生の集える場
- ・中学校の部活を入りに話し合いの場
- ・学校のイベントに地域の人を呼ぶ場
- ・子どもから高齢者が集える場
- ・通学路など困りごとを気軽に話せる場
- ・自治会の交流を深める場

こんな
場づくりが
必要

まとめられました

五個荘支部はまとめた内容を参考にして、「今できる事をやる」で推進してまいります。

今後も青少年育成市民会議五個荘支部の活動に対し、ご理解ご支援いただきますようお願い申し上げます。



～青少年広場「私の思い2024」～

11月3日（祝）五個荘コミュニティセンター大ホールで
青少年広場を開催しました。

標語表彰

- ・いじめなし みんなのころろ ぽっかぽか
小学3年 山下 嵐汰
- ・家族はね ささえてくれる たからもの
小学4年 矢守佐久汰
- ・持ちかえろう ゴミと思い出 お家まで
小学5年 忍穂 翔真
- ・やらないで なみだをながす せんそうは
小学6年 小河原唯花
- ・助け合い あなたの心の 見せ所
中学1年 大戸 一叶
- ・ささやかな 言葉一つでも たからもの
中学2年 谷 杏奈
- ・自覚しよう 自由に伴う 責任を
中学3年 矢守 温紀

作文表彰

- ・将来について 小学5年 市田 裕琉
- ・友だちについて 小学5年 奥井 遼太
- ・自分の将来 小学6年 米澤 凜
- ・ぼくの大切な家族 小学6年 高田 龍正
- ・将来の夢 中学1年 竹中 杏梨
- ・旅の途中 中学1年 笠松愛芽梨
- ・言葉は人を傷つける 中学2年 細井 汰晟
- ・外国人も同じ人間 中学2年 水口カオリナ
- ・大志を抱いて 中学3年 辻 心花
- ・ここを見つめて 中学3年 永畑あんじ



善行表彰

五個荘地区川並子ども会

熱中症警戒アラートが日々発令される中、40名の子どもたちは、盆休みの1週間を除く全25日間ラジオ体操に参加した。

長年にわたり、地域の大人たちも子どもたちをサポートし、地域ぐるみで「早寝早起き朝ごはん運動」に取り組んでいる。

五個荘中学校生徒会 福祉委員会

今年7月「能登半島地震」に対して募金活動を実施した。この募金は、日本赤十字滋賀支部を通じて、能登半島地震義援金に充てられた。

また、介護老人保健施設「ここちの郷」での除草ボランティアを行った。

地域とのつながりを大切に、社会貢献を意識しながら福祉活動を推進している。



小学1年 福沢 優実



小学2年 村山 陽南



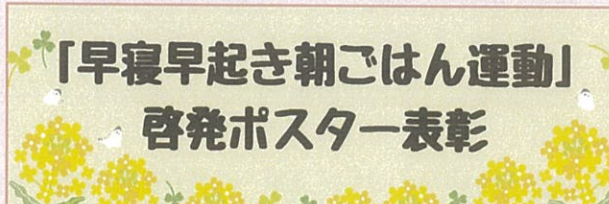
小学2年 小林 颯愛



小学3年 嵐 彩葉



小学6年 中川 怜央登



中学1年 川島 唯



中学1年 藤野 友基



中学1年 清水 羽瑠



中学1年 田村 理



中学1年 小笠原 ころこ

子どもの思いに気づく発表

青少年広場「私の思い2024」アンケートから

- 小、中学生の思いを聞ける機会が少ないので、このような場があるのはよい。(10代・30代女性)
 - 家族や友達、自分自身と向き合って、感じたこと考えたことを、年齢に合わせた表し方で表明されていて感心しました。(40代男性)
 - 幼稚園から中学校の子どもたちの成長を感じる機会でした。(40代女性)
 - 今日の晴れの日を誇りに思い、自信をもって成長されることに期待しています。(60代男性)
 - 町内の各園・学校の取り組みの発表が見られ良かった。町内の子ども達が身近に感じました。(60代女性)
 - 大人の心ない言葉が子どもを傷つけていることがあるのかと、はっと感じた。それに対して中学生は自分なりに考え行動しているな!と感じた。
 - これからもこの活動を続けてほしい。(10代女性)
 - 人間の多様性に伴い、道徳観や倫理観が薄れてきている時代になってきた。五個荘の子ども達は人を思いやる会話がコミュニケーションを取れる人間でいてほしいです。(50代男性)
- 貴重なご意見ありがとうございました。

中学生との交流 だるま汁のふるまい

今年度、地域活動部会では、地域の伝統料理『だるま汁』を子どもたちに伝えることと、中学生との交流を目的とした事業を行いました。



だるま汁はもともと、近江商人宅で夏バテ予防のために食べられていた郷土料理です。シンプルですが栄養満点!

試作では、家で食事作りの手伝いもありましたが、昔ながらのゴマをすり、出汁を取ったりという過程も学んでいただけました。

文化祭当日は、試作に来てくれた生徒さんが中心となり手際よく動いてくれ、当日のみ来てくれた生徒さんも積極的に取り組んでくれました。

『だるま汁』を目当てに来場されたお客様もおられ、「美味しいです」「もっと食べたい」と感想を言ってくれる方もいました。また、初めて食べたという小さいお子さんも、喜んで食べてくれる姿を見て、作った生徒さんも嬉しい気持ちで販売してくれたようです。作った60食全て完売することができ、みんな「自分たちの作ったものが売れた!」という喜びや楽しさを感じてくれました。

地域のサポートに感謝(五個荘中学校)

昨年10月10日に全校生徒とPTAがグラウンドの除草作業(草取り大会)を開催しました。

当日は、生徒約300名、保護者約30名、教員約30名が一丸となり、グラウンドの除草作業に取り組みました。グラウンドの各所に生えている草を手際よく抜き、学級単位で協力し合いながら作業を進めました。その結果、たくさんの除草ができ、生徒たちも楽しく除草作業を行うことができました。



関係団体の方々には、抜き取った草の回収、運搬や除草作業などの支援をいただき、生徒に温かい声かけをして下さいました。そのおかげで、除草作業もスムーズに進行し、多くの手が加わることで効率よく作業を進めることができました。

保護者や地域の方々と一緒に活動することで、生徒たちも多くのことを学ぶことができました。共同作業の大切さや、地域の方々との繋がり的重要性など、教室では学ぶことができない貴重な経験を得ることができました。

除草作業にご協力いただいた関係団体の方々には心より感謝申し上げます。今後とも地域の方々との交流をさらに深めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

五個荘中学校 寺田稚規

あいさつ運動・愛のパトロール運動

「おはようございます。」、朝の第一声、この一声でなんだか気分が晴れ、良い一日が始まりそうです。青少年育成市民会議の取り組みの一つとしてあいさつ運動をしています。毎月第一火曜日の朝、児童生徒が登校してくる時間に中学校と小学校の校門に立ち、「おはよう」の声をかけをしています。積極的に挨拶をする児童生徒は少ないですが、この活動を積み重ねることにより、しっかりと挨拶ができるようになると思います。あいさつ運動の効果は、人と人とのつながりを深めることができます。また、ご家庭でも挨拶の大切さを伝えることが必要と考えます。

また、子どもの安全を守るために、「愛のパトロール」を行っています。できるだけ小中学校の下校に合わせ五個荘地区内の下校の道を回ります。下校途中に出会った子どもたちが「ただいま」と言ってくれたり、笑顔で手を振ってくれたりするとつながりを感じます。パトロールをすることにより、不審者への抑止力にもなります。

このような地道な活動を続けることにより、地域とのつながりを深め、安心安全なまちを作っていきたいと思います。



豊かな心と健全な成長を願い

皆さまの温かいお心づかいで、59万6803円の賛助金を納入いただきました。ありがとうございました。
心豊かでたくましい青少年育成のための、当支部の運営や、次のような活動に助成しています。

♥活動支援報告

あさひ幼稚園

- ・運動遊びセット
- ・鉄棒遊びの補助に使うスプリングマット購入



さくらんぼ幼稚園

- ・ブロックの追加購入
- ・指先を使う感触遊びとして寒天粘土 他



あじさい幼稚園

- ・延長保育・各保育室用のホットカーペットの購入



五個荘小学校

- ・行事や委員会で、道具を安全に運ぶのに必要なリアカーの購入
- ・3・4年生総合的な学習の時間。視覚・聴覚障害の方を招き学習。6年生性教育の学習 講師への謝礼。

五個荘中学校

- ・レーザーポインター購入
- ・安心安全な学校づくりのために安全用品
- ・部活動支援



五個荘コミュニティセンター

- ・わくわく体験塾 夏休み勉強会の活動支援
- ・自然体験ピクニックの観察会の活動支援

五個荘地区子ども会連合会

- ・各地区への活動支援



小学校運営協議会

中学校運営協議会

- ・子ども円卓会議費用

ワンス指導者連絡協議会

- ・各地区への活動支援



活動支援報告から



「地域みんなで子どもの未来を考える」をテーマに五個荘地区で子どもに関わる各種団体の皆さんに御参加いただき、子ども円卓会議を開催しました。

今年で3回目となる会議では、初めて中学生も参加してくれて、幅広い年齢層の皆さんと、今後取り組んでいけそうなことについて意見を交わすことができました。

参加された皆さんからは、「真剣に話し合えて大変良かった」「まちづくりの当事者であることを意識できる良い機会になった」「中学生の思いが聞けて良かった」「全員が五個荘の子どもを思った素敵な話し合いでした」等の意見が聞けました。



学校運営協議会では、これからも、「地域とともにある学校」「学校とともにある地域」づくりを目指して活動を進めていきたいと思っています。

五個荘小学校運営協議会 会長 溝江 透



「こども 110 番の家」の利用状況調査結果 地区設置数 148 件

- 子どもが助けを求めたことがある(9件)
1 トイレ 2 雨やどり 3 その他

- 子どもが助けを求めたことがない(103件)

●設置者の皆さまからのメッセージ

- ここ数年は落ち着いている感じがします。知らない人に話しかけられたらダメ、何をしたらダメの中、挨拶するのも大変です。のびのびできる五個荘にしたいものです。(中町)
- 自治会内の子どものだけでなく、河曲町、和田町の子どものも自転車通学時に、高校生になっても私に「ただいま」とあいさ

つしてくれそうです。長く続けたいと思います。
毎日下校時、見守り中です。(築瀬町)

- 通学路歩道上に駐車されている車があり移動を促す。安全面で不安なのでゴミ収集の時間を変更してもらった。(竜田町)

- 5月小学生が下校途中に公園で長時間遊んでいたの帰るよう声をかけた。(竜田町)

今後とも「こども 110 番の家」設置にご協力くださいますようお願いいたします。

